

# HIC通信

Hiroshima International Center

Vol. 83  
January 2014

新年明けましておめでとうございます  
おかげさまでHIC設立25周年を迎えます。本年もどうぞよろしくお願いします。

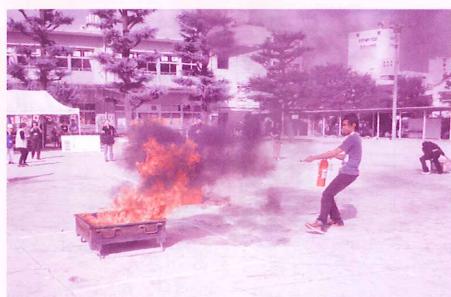
## 外国人留学生のための防災学習会を実施しています！

ひろしま国際センターでは、財団法人自治体国際化協会助成金事業として、外国人留学生を対象とした防災学習会を行っております。

10月27日(日)福山市開催を皮切りに、11月30日(土)東広島市、12月14日(土)広島市にて実施いたしました。  
広島県内には、2,600名を超える外国人留学生が在住しております、その多くが広島県内、あるいは日本国内で就職を希望しており、その数は年々増加傾向にあります。そのような中で、万が一、地震や大雨などによる災害が発生した場合、これら留学生をはじめとする外国人住民は、言語の問題や災害経験の少なさなどから大きな被害を受けやすい傾向にあり、被害を最小限に抑えるために必要な知識を習得する機会が必要となっています。



福山開催・煙体験の様子



福山開催・消火体験の様子



東広島開催・防災工作教室の様子

この防災学習会は、開催場所となる県内市町と連携し、それぞれの地域事情やニーズに沿ったプログラム内容を盛りこみ、ボランティアの参加なども得て、地域ぐるみで取り組んでいます。

外国人住民だけでなく、地域の日本人住民の防災に対する意識を高めていただけるよう、これからも実施していく予定です。（水野）



広島開催・避難体験の様子



広島開催・地震体験の様子

### ◆目次

- 2面 交流部だより
- 6面 留学生活躍支援センター
- 7面 国際プラザニュース
- 8面 こちら JICA デスク

- 9面 サミット加盟団体だより
- 10面 Upcoming Event News
- 11面 Hello Hiroshima
- 12面 広島カレンダー

### ～第2回奨学生交流会を開催しました（留学生奨学金支給事業）～

12月9日（月），今年度の留学生奨学金受給者（以下，奨学生）60名と，ご支援をいただいている企業・団体の皆様，大学関係者など約120名の参加のもと，奨学生交流会を開催しました。

今年度2回目となるこの交流会では，奨学生を代表して，広島大学大学院の劉 複婧（リュウ イセイ）さんと広島女学院大学のDIANA WANJIRU NJOYA（ダイアナ ワンジル ノジョヤ）さんの2名に，それぞれの留学生活についてスピーチをしていただきました。スピーチでは，故郷の紹介や，広島での生活を通して感じたこと，支援企業・団体との交流や地域でのボランティアなど，奨学金によって学業・研究に安心して集中できるようになったことに加え，学外の活動にも積極的に参加している様子がそれに語られました。参加者の皆様は，一生懸命にスピーチをする奨学生の声に耳を傾けていました。

続いて，企業・団体を代表して，株式会社 あじかんの山口様から，これまで支援を続けてきた企業としての思いをお話しいただき，奨学生に向けたメッセージとして「夢を持って，そしてそれを実現することによって支援してくださる方々へ恩返しをしてほしい」との激励の言葉をいただきました。

また，伝統文化の披露として，楽器 馬頭琴の演奏が行われました。福山大学の額日敦布和（アルトゥンボフ）さんに，曲目の紹介に続いて「草原の朝」ほか全2曲の演奏を披露していただきました。色鮮やかな装飾が施された民族衣装を身に付けて演奏する様子に，参加者の皆様は，雄大な草原をイメージしながら，力強くも繊細な音色に聞き惚れていきました。

奨学生にとって，企業・団体の皆様や他の大学の留学生との交流は大変新鮮なようで，話は尽きず，盛況のうちに閉会となりました。

ご協力をいただいた企業・団体の皆様，県民の皆様に，改めてお礼を申し上げます。（林）



永野会長 挨拶



スピーチをする劉さん



スピーチをするNJOYAさん



株式会社 あじかん山口様からの激励



馬頭琴を演奏する額日敦布和さん



テーブルごとに記念撮影

### 県民の皆様へ～県民支援留学生奨学金制度のご案内～

県民の皆様からのご寄附（1口 年間 5,000円，何口でも可）をもとに奨学金の支援を行っています。  
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

### 平成25年度「相談員等ネットワーク構築研修会」を開催しました

11月8日（金）と9日（土）に「平成25年度 相談員等ネットワーク構築研修会」をひろしま国際プラザ（東広島市）にて開催しました。

この研修会は、県内の外国人相談窓口に従事されている相談員の方を対象に地域を超えた相談員間のネットワークを構築する目的の研修会で、今年度初めての試みとして開催しました。

2日間の研修会には21名の相談員が参加され、相談業務での課題や、理想的な相談窓口に必要なことは何なのか、活発な意見交換や情報共有が行われました。また9日（土）には、特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海代表理事の土井 佳彦さんを迎えて、相談員がネットワークを構築するうえでポイントとなることについて講義をしていただきました。

ひろしま国際プラザに宿泊し2日間を通して、十分な意見交換ができ、相談員間のネットワーク構築という目的は十分な成果をあげることができたと思います。

参加された相談員からは、このネットワークを更に広げていくために今後もお互いに情報発信していくとともに、今回参加されなかった相談員もネットワークに加わり、広島県の多文化共生を推進していきたいとの意見もありました。

今後、広島県内の多文化共生が地域を越え、お互いに連携しあうことで広域のネットワークが構築されるよう、来年度以降も相談員等ネットワーク構築研修会を開催したいと思います。（大藤）

### 「国際交流・協力の日」に出展しました

11月17日(日)に広島国際会議場(広島市中区)で開催された「国際交流・協力の日」で、「地球ひろば」ブースを運営しました。このイベントは、「学び」を基調として、子供から大人までみんなに、楽しみながら外国文化に触れ、興味を持っていただくことが目的です。

当センターは、「地球ひろば」ブース内の「ともだちひろば」コーナーを担当し、世界の国旗にまつわるクイズや外国人とのフリートークで楽しんでいただきました。悪天候にもかかわらず、前年を上回る490名の方にご来場いただき、まさに大盛況かつ有意義なイベント運営となりました。これも、参加いただいた多数の皆様のおかげと思っています。ありがとうございました。来年はさらに楽しいイベントを企画していきたいと思います。（水野）



外国人とのフリートーク

## 国際理解講座「国際的視点からみたエネルギー問題と将来展望」を開催

10月5日（土）、11月9日（土）、12月7日（土）、国際理解講座「国際的視点からみたエネルギー問題と将来展望」を東京大学大学院/政策ビジョン研究センター 芳川恒志特任教授を講師に迎えて開催しました。

「世界エネルギー需給の現状と展望」、「アジアのエネルギー需給の現状と展望」、「エネルギー政策の課題」に関する講演内容に、80名を超える申込みがありました。この講演は東日本大震災以降、改めて注目の置かれているエネルギー問題をグローバルな切り口からみることをねらいに開催したものです。

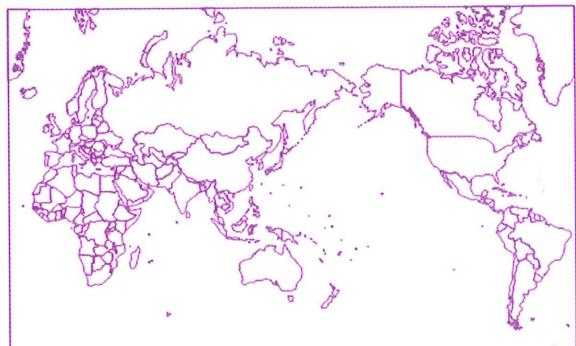
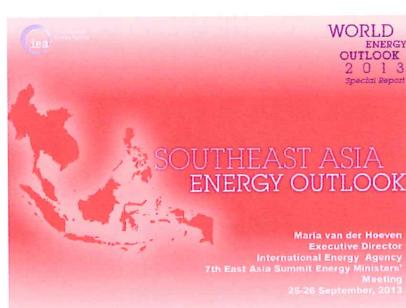
最近の新聞情報や国際エネルギー機関（IEA）のデータをはじめとした多くの資料に加え、IEAや経済開発協力機構（OECD）での勤務経験で培かれた多角的視点からの内容に、参加者の皆さんも熱心に聴講され、講演後の質問も多岐にわたり活発なものになりました。会場からの質問には全て答えるという講師の丁寧かつ真剣な対応により、毎回終了時間を大幅に超え、特に最終日は1時間を超える質疑応答の時間となりましたが、最後の最後までわかりやすい表現による回答に努められた講師の姿勢に改めて感銘を受けた参加者は少なくないと思っています。講演後のアンケートには、内容は難しかったが講師の説明が丁寧で理解できたと満足度は高く、来年度以降も芳川教授の講演を受講したいという声があがっています。（野口）



東京大学大学院/政策ビジョン研究センター  
芳川 恒志 特任教授



受講風景



## ～通訳・ガイド、翻訳ボランティア募集（随時受付）～

国際交流事業をはじめさまざまな場面での通訳やガイド、翻訳にご協力いただくボランティアを随時募集しています。応募資格は熱意のある個人及び団体で、外国語について日常会話以上の語学力を有している満18歳以上の方です。

2015年夏には、第23回世界スカウトジャンボリーが開催されます。広島平和公園・国際会議場に約1週間にわたり、3,000人程の英語圏・仏語圏の若者が集まります。ひろしま国際センターの通訳ボランティアからも派遣する予定です。登録者には、詳細が決まり次第、具体的な募集要項をお送りします。ボランティアへの具体的な申込方法は、ホームページにてご確認下さい。（野口）

### ～ふれあいパーティー2013を開催しました～



12月13日(金)に、年末の恒例イベントとなった「ふれあいパーティー2013」を開催しました。

このパーティーは、ひろしま国際センターの会員の皆様と、日頃からセンターを利用されている在広外国人の皆様、そしてセンターの運営にご協力をいただいているボランティアの皆様に、相互に交流を深めていただくことを目的に開催しているものです。

当日は、日本と外国の方あわせて27名の方々に参加いただき、思い思いに歓談や食事、クイズやゲームに多いに盛り上がり、交流を図ることができました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。(水野)



### ■メンバーシップ(会員)を募集中!

ひろしま国際センター(HIC)では、HIC事業に参画し、ご協力をいただくメンバーシップ(会員)制度を設けており、会員を募集中です。会員の皆様から頂いた「メンバーシップ(会員)会費」は、HIC交流サロンの運営やふれあいコーナーの雑誌・新聞、日本語教材の購入など、HICの実施事業に幅広く活用させていただいております。

今後、事業の一層の充実を図ってまいりますので、メンバーシップ(会員)へ継続加入いただきますとともに、お知り合いの方などに、国際交流・協力にご興味をお持ちの方がおられましたら、是非お声をかけくださいますよう、ご協力をお願いします。

○年会費 個人1口 2,000円(外国人留学生1,000円)  
団体1口 10,000円

○会員特典 センター機関誌等を送付し、各種国際交流事業等の情報提供をさせていただきます。

○有効期間 会費をお支払いいただいた日から1年間

### ～口座振替サービスのご案内～

会費の納入が口座振込でもできます。振込のために金融機関に出向く手間が省けるうえ、これまでどおり振込みに係る手数料は無料となっておりますので、是非、便利な口座振替サービスをご利用ください。

○振替日 10月1日(銀行休業日の場合は翌営業日に引落します)

○利用対象者 広島銀行に預金口座をお持ちの個人会員

※詳細についてはHIC交流部までお問合せください。

### こちら留学生活躍支援センターです ~県内の外国人留学生のみなさんの活躍を支援しています~ インターンシップを実施しました

9月に、広島県内企業に就職意思のある外国人留学生を対象のインターンシップを実施しました。「就活日本語研修」の受講修了者(32名)から、参加希望者を対象に受入協力先企業とのマッチングを行い、最終的に23名(17社)が3~9日間のインターンシップに取り組みました。

実施後の企業アンケートでは、「留学生への理解促進や社内の活性化に繋がった」との声や、留学生からは、「日本企業の理解と就職活動へのモチベーションの向上が図れた」等の声が多く聞かれました。  
参加留学生数及び内訳

地域	受入先企業	参加留学生	国籍			性別		在籍	
			中国	モンゴル	バトナム	男	女	学部生	院生
広島	12社	13名	10名	1名	2名	3名	10名	10名	3名
東広島	3社	5名	5名	-	-	1名	4名	-	5名
福山	2社	5名	5名	-	-	-	5名	5名	-
合計	17社	23名	20名	1名	2名	4名	19名	15名	8名



### 企業・留学生交流サロン（東広島会場）を開催しました

10月18日（金）、平成25年度第2回企業・留学生交流サロンを東広島市で開催しました。この交流サロンは、「日本の企业文化や仕事・働き方」をテーマに、企業の方と留学生が気軽にテーブルを囲んで自由に意見を交換するものです。東広島市の開催は初めてでしたが、当日は、協力企業3社「(株)大創産業・(株)メンテックワールド・(株)HIVEC」の参加のもと、外国人留学生19名に加え、インド人研修生6名の特別参加で満席状態となり、予定時間をオーバーしながら盛況のうちに閉会しました。



### 《これからの予定》

#### 企業・留学生交流サロン（福山会場）

今年度は、「企業・留学生交流サロン」の開催を全6回予定しています。広島市内会場以外では、10月の東広島会場に続き、3月に福山開催を予定していますので、当エリアに居住の外国人留学生及び企業の皆様には、是非ご参加いただき、自由に意見交換をしてもらいたいと思います。

## エスニック料理とハラルフード

東広島市の「ひろしま国際プラザ」のレストランは、県内ではなかなか味わうことのできないエスニック料理とハラルフードが食べられます。

ハラル（HALAL）とは、イスラム教の教えに基づき「合法的なもの」「許されたもの」という意味のアラビア語です。ハラルに認証された食材は、鶏肉や野菜を中心で、とてもヘルシーです。土日もオープンしているレストラン「ラコルト」でハラルのバイキングを食べながら、異文化に触れてみてはいかがですか？

レストラン「ラコルト」（場所） 東広島市鏡山3丁目3-1  
お問い合わせ ひろしま国際プラザフロント 電話 082-421-5800



## 世界まるごと体験デー 楽しさ倍増して開催！

平成26年2月1日（土）にひろしま国際プラザのお祭りを開催します!!

時間は、10時～14時、フリーマーケットは9時半スタート。日本や世界の文化を「遊び」を通して楽しく学ぶことができます。ステージ発表や世界旅行クイズ、ワークショップもあります。世界の味をレストランや屋台で味わうこともできます。

また、情報センター・図書室では、外国語新聞・雑誌などを無料でご提供する「リサイクルフェア」も開催します。外国語の学習や国際理解にお役立てください。入場無料、事前申込みは不要ですので、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

\*通訳や運営のボランティア・フリーマーケットの出店者もあわせて募集中！



## ワールドクッキング教室



世界の料理や文化を気軽に体験することができるワールドクッキング教室を開催中です。教室は月1回で、火曜日クラス・木曜日クラスの2クラスです。受講料は3回で4,500円です。時間は10時～14時です。興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

[参考～後期開催内容]

	第3回 1月	第4回 2月	第5回 3月
日 程	① 21(火) ② 30(木)	① 18(火) ② 27(木)	① 18(火) ② 27(木)
料 理	タイ料理	未 定	アフガニスタン料理

## 「中国とベトナムの日本語教師が知事を表敬訪問」

平成25年10月2日（水）～11月27日（水）まで、研修部では広島県から委託を受け、中国、ベトナムから各3名の日本語教師養成研修を実施しました。

10月17日（木）に、湯崎知事を表敬訪問した際、日本語教師は「広島は原爆というイメージが強かったが、実際に訪れてみて、大変素晴らしい環境だと感じた。自分の学生を広島へもっと留学させたい。」というメッセージを知事に伝えました。



## ★お申込み・問合せ先

公益財団法人ひろしま国際センター研修部

〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

（電話082-421-5900 FAX082-421-5751）

- ・事務室開室時間 月～金 9:00～17:45
- ・情報センター・図書室開室時間  
毎日 10:30～19:00（平日12:30～13:30は休室）

URL : <http://hiroshima-ic.or.jp/hip/>

E-mail : [hicc@hiroshima-ic.or.jp](mailto:hicc@hiroshima-ic.or.jp)



広島から世界へ！ 1月上旬より、広島県出身の青年海外協力隊員／シニア海外ボランティア5人が、タンザニア・ヨルダン・グアテマラなど5カ国へ向けて出発します！

### 《青年海外協力隊》（※左から氏名・派遣国・職種）

井上 裕子	タンザニア	看護師
北村 珠絵	ヨルダン	美容師
金河 大	エチオピア	理科教育
<b>《シニア海外ボランティア》</b>		
樽澤 英治	グアテマラ	下水道
山科 司	ザンビア	公衆衛生

### 現在赴任中の広島県出身 JICA ボランティア（人）

区分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	14	22	36
シニア海外ボランティア	13	1	14
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	1	1

平成 25 年 11 月 30 日時点

## リガンガ村のパンジェ家に誕生した新たな命

JICA国際協力推進員（広島県JICAデスク）大塚善久

2008年9月末、アフリカ南東部マラウイ共和国の東部サリマ県の小さな村で、一人の赤ん坊が産声をあげた。この家族パンジェ家の父親は、農業と自転車タクシーで生計を立て、母親は5人の子どもを育てながら、家事と農業に精を出していた。村に電気・水道はなく、土の上に建つ8畳ほどの土壁の家で、食べ盛りの子どもたちを抱えながら生活する一家の姿は、日本人からするとテレビで観る、原始的なまさにアフリカの貧困家庭そのものだろう。穴だらけの国道脇、バオバブの木に囲まれ、見過ごしてしまう程小さなリガンガ村で産まれた女の子と私の今でも続く関係。

私が青年海外協力隊員として、この一家の住むリガンガ村で活動を始めたのは、女の子が生まれる半年前。マラウイに赴任して1年が経ち、2年目は作物が不作の時に起こる飢餓を防ぐため、アフリカ向けに品種改良された米の試験栽培と一緒に取り組んでくれる村を、近い地域で活動する稲作隊員と協力して探していた。この村の裏手には沼があり、米の栽培に適していると判断。無謀にもこの村へ飛び込み訪問したのが始まりだった。身に付き始めた現地語で、居合わせた女性に訪問目的を伝え、村長の家に案内してもらった。村長に自分たちの要望を伝えたところ、村長は快諾。農地の一部を貸してくれるだけでなく「せっかくの機会なので、村の女性たちに稲作の技術指導をしてほしい。私の娘が中心となって色々と協力する」と紹介してくれたのが、先ほど案内してくれた妊娠中のパンジェ夫人。

外国人と接点すらなかった村の人びと。土地の開墾から田植えまで、日々の共同作業を通じて、互いの心の距離が徐々に近づく。当初私たちを怖がり、逃げ回っていた村の子どもたちも、いつしか私たちの乗るオートバイの音が近づくと、毎回20人以上で「ヨシ！」「ジャパン！」などと叫びながら裸足で嬉しそうに出迎えてくれるようになった。活動を終え、夕方近くまで子どもたちと遊んでいると「ご飯を食べて帰って」と、貴重な食事を私たちに振る舞い、畑で収穫した野菜を帰り際に持たせてくれた。堆肥作り、日本料理教室、手洗いの啓発活動など、この村での活動は様々な広がりを見せ、週2～3回は定期的に訪れるこの村が、私にとってかけがえのない場所になっていった。

私の帰国が半年後に迫った頃、パンジェ夫人も臨月を迎えた。夫妻と生まれてくる赤ん坊について他愛もない会話をしていた時、「名付け親になるよ」私が冗談半分に言った一言。夫妻は大笑いしながら言った「それじゃお願ひね」。私が所用で首都のJICA事務所に行っている数日の間に赤ん坊は生まれていた。数日ぶりに村を訪れると、生まれたばかりの赤ん坊を抱きかかえながら夫人が一言「遅い！ 何日間待たせるの。早く名前を付けてあげて」と。

冗談かも知れないと半信半疑だった私。それでも、もし本気だったらと、日本を連想させる名前をいくつか考えていた。しかし、私のことを忘れてほしくないという想いも重なり、その場で考え抜いた末にある名前をその赤ん坊に付けた。

それが「オオツカ」の苗字から取った「オスカー」という名。帰国する私と彼女がいつまでも繋がっていられるようにと願いを込めた名前。

帰国してから約1年半後。居ても立ってもいられず、プライベートでマラウイへ飛び、リガンガ村を訪ねた。「私の帰国後に改名されていないだろうか…」しかし、それは杞憂に終わった。村には2歳になり、誰からも可愛がられる「オスカー・パンジェ」という名の元気な少女が確かにいたのだ。



パンジェ夫妻と生後間もないオスカー

## 【国際協力出前講座のご紹介】

青年海外協力隊経験者やJICA関係者が、開発途上国での活動や生活の様子など、国際協力に関する体験談を『出前』しています。学校関係に限らず、地域活動に関わる方々からのご依頼も是非お待ちしています。お気軽にご相談ください。

<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/volunteer/setsumei/jocv.html>

## サミット加盟団体だより

### 特定非営利活動法人安芸高田市国際交流協会

安芸高田市では、2013年「多文化共生プラン」が制定され、これまでのお客様としての外国籍住民から地域の構成員である地域住民としての住民サービスの向上を図り始めました。それを機に特定非営利活動法人安芸高田市国際交流協会もこれまでのレセプションや国際交流事業の枠から脱皮し、進化を始めています。

2008年4月、安芸高田市国際交流協会が、安芸高田市教育委員会のもとに設立されました。

2012年3月、安芸高田市人権多文化共生推進室との連携が強化され、国際交流事業、日本語学習支援、英語教室、ポルトガル語教室、料理教室、多文化共生啓発事業等の事業展開を始めました。

2013年7月、安芸高田市国際交流協会は、特定非営利活動法人安芸高田市国際交流協会として法人格を取得しました。



ポルトガル語教室の様子



日本語教室のメンバー



ポトラック・バーベキュー大会



ふれいあ感謝祭

多文化共生を推進していく上では、人的ネットワークが必要です。また、多文化共生事業をビジネス化していくことが求められています。

現在は、はじめに述べた人的ネットワークの構築に向けて、ひろしま国際交流サミット備北分科会のメンバーとともに、「ひろしま県北部国際共生ネットワーク」の設立に向けての検討会を進めています。

これから地方に求められる「ダイバーシティ」多様性あるまちづくりの一翼を担えるような組織として活動をしていきますので、どうぞよろしくお願いします。

#### 【お問合せ先】

会長 末田博信 事務局長 明木一悦

事務局 npoatie2013@gmail.com

Facebook 特定非営利活動法人安芸高田市国際交流協会

### 平成25年度 ひろしま国際交流サミット研究会『HIROSHIMAS』のお知らせ

日 時 平成26年1月12日（日） 14：00～17：00

場 所 広島クリスタルプラザ6階  
(広島市中区中町8-18)

内 容 世代や性別、国籍の違う方々にお集まりいただき、「ひろしまを外国人も住みやすい「まち」にするためにはどうすれば良いか」を大きなテーマにワークショップを行います。



# Upcoming Events News

No.127

\*それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせ下さい。

## 平成26(2014)年1月分

日	内 容
22 (水)	<b>北欧物産展</b> 福山フィンランド協会は、1991年3月に設立されて以来、フィンランドに関する講演会やハレディック教室、料理教室を行なながら、友好親善を深めています。今年度は初めての北欧物産展を開催します。
27 (月)	フィンランドのお菓子・FAZER社のチョコレートやムーミンチョコ、インテリアはアラビア社のマグカップや食器、木のぬくもりのキッチン用品など多数の商品を展示・販売します。どうぞ、お出かけください。 時 間 10:00～18:00 場 所 まちなか交流プラザふくふく 問合先 福山フィンランド協会 担当者 古川 加保里 TEL: 084-921-2345

## 平成26(2014)年2月分

日	内 容
8 (土)	<b>HIGA 文化講演会 「名水と健康と美容 一西条のお酒はなぜおいしいのか?」</b> 講演者 佐々木 健 氏 (広島国際学院大学 地域連携センター長、工学部教授) 時 間 13:30～15:30 場 所 アステールプラザ 4階 大会議室 AB (広島市中区加古町 4-17) 場 所 広島県縮景園 参加費 無料 定 員 100人 (要予約) 問合先 ひろしま通訳・ガイド協会 TEL: 082-245-8346 FAX: 082-243-6767 E-mail higa@urban.ne.jp
23 (金)	<b>広島県国際交流協会 2月講演会</b> A short discussion: Traveling into space in an elevator A presentation entitled "Canada: The Great White North and maybe a little more" will be given by Mr. Dustin Reimer on February 23rd , the fourth Sunday, at 1:00PM in the Lounge. Before the speech, we will have a Karaoke lesson featuring the song "Moonlight Serenade." Following the song, the above mentioned concern will be discussed briefly. 時 間: 13:00～ 場 所: ラウンジ 尾道市久保 3-14-18 問合せ先: 広島県国際交流協会 松浦 Tel: 0848-37-3518 e-mail:matsuuras2000@ybb.ne.jp URL: http://www.geocities.jp/matsuuras2000/

## 平成26(2013)年3月分

日	内 容
2 (日)	<b>第 22 回外国人留学生による日本語スピーチコンテスト</b> 広島県在住の外国人留学生による日本語スピーチコンテストを実施します。 留学生の視点から、日本の文化や留学生活などについて発表します。また、地域のみなさんと国際交流を深めます。 第 1 部 13:30～16:00 外国人留学生による日本語スピーチコンテスト (入場無料) 第 2 部 16:30～18:00 交流会 (参加費 1,000 円・要予約・誰でも参加できます) 場所 福山市立大学 大講義室など 定員 300 名 (交流会 100 名) 問合せ先 福山 YMCA 担当者 佐藤 知子 TEL: 084-926-2211 E-mail t-sato@hiroshima.org

## HIC交流部からのお知らせ

### 平成 25 年度 ひろしまグローバル人財養成講座開催

会場 1/11, 2/22, 3/1 サテライトキャンパスひろしま (広島県民文化センター内、広島市中区大手町 1-5-3)  
1/12 ひろしま国際センター交流ホール (広島市中区中町 8-18 広島クリスタルプラザ 6F)

Global issue(地球の問題)である「経済」と「環境」について、専門の先生方から学べるまたとない機会です。

また、「ワークショップ」を通して、将来のために何ができるのか?一緒に考えて行きましょう!

#### ～募 集 要 項～

- 対 象 高校生から30代くらいまでの方
- 募集人員 30名
- 参 加 料 無料
- 申込方法 参加回数を記入のうえ、  
Eメール、FAX、郵送、窓口にて受付

申し込み・問い合わせ先 担当(木村)  
〒730-0037 広島市中区中町8-18  
広島クリスタルプラザ6階  
TEL:(082)541-3777 FAX:(082)-243-2001  
E-mail:hic17@hiroshima-ioc.or.jp

開 催 日	プログラム内容	(敬称略)
1月11日 (土)	開演・オリエンテーション 13:15～13:30	
	第1回 未来を創るグローバル人財へのメッセージ 「世界へ飛び出そう!」 13:30～15:00 講師 広島経済大学 国際交流室 室長・教授 ジョージ・R・ハラダ	
1月12日 (日)	第2回 Global issue (経済) 講義 「グローバル経済と環境権」 15:20～16:50 講師 広島大学 総合科学研究科 准教授 李 東碩	
	ワークショップ 「HIROSHIMAS」 14:00～17:00 講師 NPO 法人ひろしまジン大学 代表 平尾 順平	
2月22日 (土)	第4回 Global issue (環境 1) 講義 「気候変動に対する国際的な取組み」 13:30～15:00 講師 県立広島大学 生命環境学部 教授 原田 浩幸	
	第5回 Global issue (環境 2) 講義 「地球温暖化などの大気環境問題の現状と対策」 15:20～16:50 講師 広島大学 大学院生物圈科学研究科 教授 佐久川 弘	
3月1日 (土)	第6回 ワークショップ 「模擬国際会議の開催」 13:00～17:00 講師 県立広島大学 人間文化学部 国際文化学科 教授 富田 和広	

# Hello Hiroshima



vol.83  
January 2014

When is the last time you got to travel for free?

## The Best Part

By Trevor Swan

About a month ago, a coworker was kind enough to tell me about a great opportunity. She mentioned there would be travel and that it would be a good experience. I just had to meet her friend to discuss how to proceed.

I found out that her friend was part of a research group evaluating the ease of traveling in the region—for foreigners of various language groups—and they needed more English speakers. Basically, I was told I could go on three all-expenses paid vacations and all I had to do was fill out some survey forms afterwards. I couldn't say, "hai" fast enough.

Fast forward a few weeks and I found myself on a train to Tottori-ken with a blue-binder filled with evaluation forms. Traveling with me were fourteen other people, mostly exchange students. While didn't speak the same native languages, Japanese worked well enough for us anyway.

The first day, after devouring an extravagant seafood meal, we moved from tourist site to tourist site, filling out forms in between. I got to see the giant sculptures of the Tottori Sand Museum, and the Tottori Sand Dunes<sup>1</sup>. The moving around from morning to evening filling out the forms was fun, it was also tiring. By the end, I was ready to sleep, but...

...I woke up the second day, still recovering from a late night karaoke session and found myself on a boat headed to the Uradome Coast<sup>2</sup>. There was something deeply moving about seeing the smooth lower rings of otherwise jagged rock formations in the process of losing a millennia long battle to erosion... I also enjoyed feeding the seagulls as they glided over the clear blue waters.



And while those parts of the trip were truly great, the best part is that it was all for free.

1 The museum is a place full of giant sculptures, made in just one week's time, using water and ten thousand year old sand

2 Note: If you've never been, stop reading this and go now. No, really.

# Hirosshima Calendar

Date	Event	Location
Jan 15	<b>Tondo Festival</b> Ritual burning and carrying of massive bound-up cones of dried bamboo.	Hiroshima City – Gokoku Shrine – right next to Hiroshima Castle
19	Annual National Long-distance Relay Race	Peace Park (start/finish.)
Feb 7 ~ 9	<b>Daruma Festival</b> Daruma dolls in every imaginable type and size	Mihara City – Also the home of the Daruma Museum!
Mar	<b>Kiyomori Festival</b>	Miyajima
Jan-Feb	<b>Oyster Festivals</b> If you live close to the ocean, enquire about Oyster Festivals in your area!	Across the Prefecture – ask for "Kaki Matsuri" in your area !

## Editor's notes:

There are a number of festivals coming up next year, a decent amount taking place right in Hiroshima city. If you haven't, I definitely recommend checking out these while you can! Until then, remember to turn your heaters up and make sure to think warm thoughts.

It's a bit early, but I hope all your new years are happy!

If you have questions or comments (or want advice on thinking warm thoughts) send an email to:

Hic05@hiroshima-ic.or.jp

## 予告 「多文化共生シンポジウム」開催決定について ～地域の多様な子供たちの環境から考える多文化共生（仮題）～

【日時】平成26年2月15日（土）13：30～16：30

【場所】TKPガーデンシティ（第1部）およびHIC交流ホール（第2部）

（広島市中区中町8-18 広島クリスタルビル内）

<第1部> 13：30～「基調講演」 講師 吉富 志津代（NPO法人 多言語センター FACIL理事長）

<第2部> 15：00～「ワークショップ」 ファシリテーター 吉富 志津代

※詳細につきましては、後日HPおよび新聞広告、開催チラシ等で公開いたします

（敬称略）



〒 730-0037

広島市中区中町 8-18 広島クリスタルプラザ6階  
Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください

Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:

TEL : (082)541-3777 FAX : (082)243-2001

URL (Japanese) <http://hiroshima-ic.or.jp/>  
(English) <http://hiroshima-ic.or.jp/hice>

E-mail:hic@hiroshima-ic.or.jp

